

『2021年度入試の基礎知識』

入学、進級からあつという間に2か月が過ぎ、中間考査が終了しました。結果はどうでしたか？自分なりの勉強方法は見えてきましたか？**1日2時間の学習時間**キープしていますか？(もちろんテスト前は数倍勉強していたはずですね)なりたいた自分をめざし、がんばりましょう！

2021年度入試情報

○今の高2生から入試が変わります

- ①「センター試験」に代わり「大学入学共通テスト」を実施
 - ②英語認定試験(外部試験)の導入
 - ・共通テストの英語の成績に加えて、英語資格・検定試験の成績を活用する。
 - ・英語4技能CEFRのA2レベル、つまり**英語検定準2級**が出願条件のカギ。
⇒高1、2から外部試験の受験経験を積んでおこう
 - ③「主体性評価の重視」への動き
 - ・調査書、活動歴も評価基準として重視
⇒特別な活動をしなくても、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の2つの学力要素が基盤。もちろん「主体的」なだけではだめである。
 - ④国語…「実用的文章」か「論理的な文章」追加、記述式問題導入(字数制限、段落数や書き出し指定「条件付き記述式」、80分から100分へ)
 - ⑤数学…記述式問題導入、60分から70分へ
- しかしながら！共通テストの90%はセンター試験と同じ。出題範囲も同じ
- どの教科も問題文が長くなっており、**最も必要なのは速読力を含む「読解力」**
- ・共通テストの難易度がアップ(目標全国平均得点率50%)、演習量が多いと得点できるといわれています。

第1回 進路講演会 6/27(木)

講師 立谷光太郎

(たちや こうたろう) 氏

株式会社博報堂 顧問

演題「学校生活を見直す(仮)」
普段聞けない方から話を聞き、視野を広げ、社会と自分とのつながり、自分の将来などについても考えてみよう

進路講演会は7月にも予定しています。

○近年の大学入試のトレンド

- ・難関国立大の入試改革…AO,推薦シフトが鮮明に。内容難しく語学力あつての推薦
- ・グローバル系、文理融合型新設学部…「国際」「情報」「データ」がキーワード
- ・英語4技能資格・検定試験利用入試拡大と基準の見直し
- ・インターネット出願の拡大
- ・大規模私立大の入学定員充足率の基準厳格化の継続
- ・首都圏主要私大キャンパスは山手線圏内に戻ってきている

